令和６年度　研究計画書

調－１

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研　　究代表者名 | （ふりがな）氏　　名（性別） | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（男・女） | 生年月日 | 　　年　　月　　日生2024年4月1日現在（　 　歳） |
| 卒業大学名卒　業　年 |  |
| 自宅住所 | 〒 | 卒業大学院名卒　業　年 |  |
| 所属研究機関部局(大学･大学院) |  | 学　位 |  |
| 連絡先 | 電話番号（固定電話・携帯電話） | メールアドレス |
| 職○をつけて下さい | 准教授・講師・助教・研究員・院生その他（　　　　　　　　　　） |
| 所属機関所在地 | 〒 | 電話番号 | 現在の専門 |  |
| 研　　究課　　題 |  |
| 倫理委員会等の承認 | □ 承認取得　　　　　　　□ 申請中　　　　　　　　□ 申請準備中　　　　　　□ その他　　年　　月　　日　　　　機関名　　　　　　　　　　　2024年　　月 取得見込　 2024年　　月 申請予定　（　　　　　　　　　）　　　　　　　　　　　 |
| 研究経費 | 年　　度 | 研究経費（合計） | 使　用　内　訳 |
| 設備備品費※ | 消耗品費 | 旅　費 | 諸謝金 | その他 |
| 2024年度 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| ※設備備品費については総額の40％以下としてください。 |

他機関での助成について

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 上記以外の研究課題で受けた、又は受ける予定の補助金額とその種類(他機関) | 年　度 | 2022年度 | 機関名 | 2023年度 | 機関名 | 2024年度 | 機関名 |
| 補助金額 |  |  |  |  |  |  |
| 今回申請する研究課題が過去受けた、又は今後受ける他機関での研究テーマと類似している場合は記載してください。 | 他機関で補助を受ける（受けたことがある）テーマ |  | 補助を受ける（受けたことがある）機関名 |  |
| 上記と今回申請する研究課題の相違点を記入してください。 |  |

　※他機関で過去受けた、又は今後受ける研究課題（テーマ）と重複している場合は審査対象外となります。

　　研究課題が類似している場合でも新規性・独自性のある内容の場合は審査対象としますので上記の記載をお願いします。

　　上記の説明がなく、選考でテーマが重複していると判断された場合は審査対象外とします。

（他機関の助成については記載をしていない場合でも公開資料を元に確認しております。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研 究組織 研究代表者及び研究分担者 | 氏　　　名 | 所属部局・職（現在の専門） | 最終学校名卒　業　年 | 学位 | 研　　究　　分　　担 |
| 代表者研　究 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

※研究分担者は、氏名の下に生年月日と年令を記入のこと

|  |
| --- |
| 研究目的　　　（研究目的は、研究費の交付を希望する年度内に、何を、どこまで明らかに　　　　　　　　しようとするかがわかるように焦点をしぼり、具体的に記入すること。） |
|  |
| 研究計画・方法（研究目的を達成するための研究計画・方法を具体的になるべく箇条書きに記入すること。研究分担者相互の関係についてもわかるよう配慮すること。） |
|  |

調－２

|  |
| --- |
| 研究の意義（当研究で得られた成果・知見が子どもの発達に関連する学問や子供の発達環境にどのような影響をもたらすか、学問的意義や社会的貢献について記入すること。） |
|  |
| この研究に関連する国内及び外国における研究状況、それらと対照しての研究の特色・独創的な点 |
|  |
| 研　究　実　績（最近３か年において学術雑誌等に発表した学術研究論文、著書、学会発表について研究組織欄に記載された者ごとに、発表年次の順に記入すること。） |
| 発　表　者　・　著　者 | 学協会誌名・大会発表論文名等 | 巻号 | 発表年（西暦） | 発表論文名・著者名 |
| 氏　名 | 大学学部等 | 職 |
|  |  |  |  |  |  |  |

* 記入上の注意
本書の各欄のスペースは拡大できますが、全体の枚数が５枚以内に収まるよう記入下さい。また、記入する字の大きさは9～10.5ポイントを使用下さい。（本書の幅拡大不可）